

# 工事設計概要書

○以下の工事を行うために実施設計を行う。

## 1. 目的

南海トラフ地震における津波避難対策として、志摩市津波避難計画に基づき、甲賀北地区に津波避難施設を整備することを目的とする。

## 2. 施設概要

名称：(仮称)甲賀北地区津波避難タワー

建築年度：令和6年度(予定)

構造：S造 もしくはRC造 ※主要構造の比較により構造変更有り

	避難人数	トイレスペース	倉庫	避難シュート	想定避難スペース	想定浸水深
避難タワー	100～105人	4～8㎡	8～16㎡	1.5㎡	114～130㎡	6.86m

## 3. 設計内容

- ・津波避難タワー（屋根付き）
- ・避難用照明設備
- ・備蓄倉庫（鍵ボックス共）8～16㎡
- ・外構工事
- ・簡易トイレ(テント型)設置スペース 4～8㎡
- ・津波被害で、階段が破損した場合に、下に降りるためのシュート等の避難設備

## 4. 設計条件

- ・「津波に対し構造耐力上安全な建築物の設計方法等に係る追加的知見について」(技術的助言)」における「東日本大震災における津波による建築物被害を踏まえた津波避難ビル等の構造上の要件に係る暫定指針」(平成23年11月17日付国住指第2570号)に準拠した設計を前提とすること。
- ・避難スペースの必用面積は 0.5～1㎡/1人
- ・津波波圧算定式に用いる水深係数は3とする。
- ・避難ステージ高さは、想定浸水深から得られる高さに対し4m以上の余裕高を加えた高さ以上とする。(市が決定する)
- ・主要構造(S造、RC造)の比較検討については、浮力に対する検討、漂流物に対する検討、施工性、耐用年数、工事費、維持管理費等とし、点数化する等客観的に評価できる方法により行うこと。

## 4. その他

- ・建築確認申請業務（構造適合性判定含む）
- ・主要構造を比較検討し資料を提出する。  
※その他、詳細は監督職員との協議により決定する。
- ・基本プラン・配置・構造の決定(S造もしくはRC造)を7月中旬頃までに決定すること。
- ・10月末までに概算工事費を提出すること。